

2024 年度事業報告書

総括

2024 年度は、複合型交流拠点ウィズあかし（生涯学習センター・男女共同参画センター・市民活動支援センター、以下「ウィズあかし」）の指定管理 2 期目の 2 年目にあたる年度でした。また、2022 年度に策定した新たなパーパス・ビジョン・ミッションに基づく取り組みを本格化させた 2 年目でもあり、次のフェーズの明石コミュニティ創造協会に向けて、具体的な一歩を踏み出した年でもありました。

ウィズあかしでは、2023 年度に自動釣銭機の導入やオンライン決済の導入など、業務効率化の基盤づくりを進めてきました。その成果を踏まえ、2024 年度は相談業務やコーディネート業務に一層注力することができました。受付窓口も、相談やコーディネート対応がしやすい雰囲気へと窓口を整備し、あわせてスタッフの研修体制も充実させました。これにより、窓口を訪れた利用者とスタッフとの間で、より気軽に声をかけ合える関係が生まれ、相談につながる機会が自然と増えつつあります。

市民活動支援においては、助成金セミナーの開催やボランティアマッチング支援などを整備し、明石市内の多様な市民活動を支援する体制を強化しました。これにより、活動分野や団体の規模を問わず、多様な相談にも柔軟に対応できるようになってきています。

また、明石市市民とつながる課と連携して実施した「市民ファシリテーター養成講座 基本編」には約 80 名が参加し、まちづくりに意欲を持つ多様な市民とつながる貴重な機会となりました。

さらに、「明石コラボミーツ～ひらめき交流会～」では、大久保エリアの市民活動団体や校区まちづくり組織、中学校区のコミセン、企業、学校、個人、など、さまざまな立場の人々が出会い、交流する場を創出しました。地縁型団体・テーマ型団体・企業・学校など、多様なステークホルダーが横断的につながる機会となり、今後の協働によるまちづくりのあり方を探る大きな一歩となりました。この交流会には、市民ファシリテーター養成講座の受講生の一部が実践の場として関わることができた点も、一つの成果として挙げられます。

こうした取り組みを通じて、2024 年度は、これまで積み重ねてきた基盤を活かしながら、実際の支援や連携のあり方を一歩深めることができた年だったと言えます。つながりや活動の幅も広がり、次の明石コミュニティ創造協会の姿を少しずつ形にしていくフェーズに入りつつあることを実感できる一年となりました。2024 年度に関わってくださった市民の皆さまに心から感謝申し上げます。

各事業の詳細については、次ページ以降に記載します。

【目次】

I. 協働のまちづくり推進事業—明石市委託事業—	2
II. 生涯学習の推進事業	6
III. 公共施設の管理運営事業—複合型交流拠点ウィズあかしの運営—	11
IV. 情報発信・情報提供に関する事業—全体に関する事業—	28
V. 市民の主体的な活動支援事業	29
VI. 法人管理	37

I. 協働のまちづくり推進事業-明石市委託事業 -

今年度は、昨年度から取り組む「より多様な主体が互いの役割や立ち位置を理解、連携して協働のまちづくりに取り組む風土づくり」に向けて、相互理解や連携を促す事業や仕組みづくりに一層注力して取り組んだ。個別の対象への支援においても、他の領域や組織・拠点との相乗効果を狙い、明石市民活動・ボランティア活動実態調査をはじめ、横断した取り組みを進めた。

特に、地縁型組織に対する支援については、全校区の協働のまちづくり推進組織への移行が目の前に迫るなかで、次の支援戦略を見越した施策に注力した。新たな取組としては、役員や事務局といったキーパーソンが、これからの校区まちづくり組織のあり方や、今後の活動でアプローチすべき課題について考えを巡らす機会づくりが重要であると捉え、研修会実施を進めた。具体的には、交付金校区を対象にこれからの自組織のあり方を考える「持続可能なまちづくり研修」や、地域事務局に求められるコーディネートの実践のヒントを他市の当事者から得る「地域事務局研修『事務局スタッフによるコーディネート』」である。特に後者は、事務局がコーディネートに取り組む重要性を役員に気づかせる機会になり、事務局発案でサロン型事業などを企画する動きが複数校区でおきた。

1. 地域自治の支援事業

(1) 全体支援

従来から実施している情報発信に関する支援や、市連合まち協広報部会を通じた校区のまちづくりの普及啓発に加え、今年度は担当課と連携し校区まちづくり組織向け研修会「持続可能なまちづくり研修」「あかしまちづくり懇談会」「地域事務局連絡会議」を企画・実施した。その他、「定額減税勉強会」を開催し、労務・会計支援を行った。

① 情報共有・情報発信（提供）

昨年度から引き続き、公式 LINE「明石のまちづくり情報」について、分野を問わず協働のまちづくりを進めていくために、地縁型活動に限らず市民活動など含め広くまちづくりに関わる情報発信を行った。

【実施内容】

内容	詳細
LINE 公式アカウント「明石のまちづくり情報」での情報発信	配信期間：2024 年 4 月 1 日(月)～2025 年 3 月 31 日(月) 配信件数／登録人数：12 件／193 人
まちナビ AKASHI 編集勉強会	開催日：6 月 21 日(金)13:30～15:30 参加者：4 校区 4 名 会 場：ウィズあかし学習室 801A
明石市連合まちづくり協議会広報部会の運営支援	明石のまちづくり第 15 号（令和 6 年 10 月発行） 明石のまちづくり第 16 号（令和 7 年 3 月発行）

② 相談・コーディネート

広く協働のまちづくりを推進していくために、まちづくり協議会などの校区まちづくり組織への直接支援だけでなく、地域内で活動を行う各種団体に対して相談・コーディネートを行った。なお、分野型組織の相談・コーディネートについては、指定管理運営を行う「ウィズあかし」と連携することで、広く相談に乗れる体制で実施した。

【相談・コーディネート件数（校区まちづくり組織からの相談件数は除く）】

項目	相談		コーディネート
	地縁型組織	分野型組織	
件数	7 件	113 件	42 件
内容	・自治会活動のあり方見直しに向けた住民アンケートについて、アンケートを実施した他自治会とつなぎ、事例共有 ・地域の伝統文化(しめ縄づくり)継承の講師として、他自治会の農会を紹介 など	・活動や団体の立ち上げ相談 ・活動の運営相談、特に広報やITの活用に関するもの ・NPO など法人の設立相談、解散相談 など	・市民講師や市民活動団体の地域行事や福祉施設慰問等へのコーディネート ・専門的な知識提供や相談を希望する団体や個人への明石市担当課等へのマッチング(産官学共創課、こどもセンター、インクルーシブ推進課、文化博物館など)

③ 活動支援・人材育成(セミナー、勉強会の実施)

地縁型、分野型、地域における生涯学習といった特定の領域を対象とするのではなく、活動において必要な知識やスキルを提供するセミナーを開催した。

【取組内容】

タイトル	開催日	内容	延べ参加者数
校区まちづくり組織向け定額減税相談会	第1回 6月4日(火) 第2回 6月7日(金)	・定額減税の概要(対象者など) ・毎月の手続きと年末調整について ・住民税の特別徴収について	1 校区 1 名 (6月7日開催分)
持続可能なまちづくり研修	7月13日(土)	・これからの地域運営組織についての講義、事例紹介 ・持続可能なまちづくりに向けて、地域課題の深掘りするワーク 講師：斎藤 主税(都岐沙羅パートナーズセンター)	38 名
あかしまちづくり懇談会 「広がるまちのつくり方～広報・子どもから考える～」	10月27日(日)	【分科会①広報】 ・まち協が行う広報活動の考え方・取り組み方について講演 ・広報活動を振り返り、これからの活動を考える意見交換 講師：小野寺 浩樹(いちのせき市民活動センター センター長) 【分科会②子ども】	44 名

		・まち協における子どもの活動や地域活動全体へもたらす効果について講演、事例紹介 ・講演を踏まえて子どもの活動のこれからを考える意見交換 講師：宝楽 陸寛（公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団代表理事） 市内事例講師：魚住まちづくり協議会	
校区まちづくり組織・NPO 法人向け 年末調整セミナー（基礎編）	11 月 26 日(火)	・年末調整やそれに関連する所得税・住民税等に関する講義 ・各団体の交流、意見交換	12 名
校区まちづくり組織・NPO 法人向け 年末調整セミナー（実践編）	12 月 6 日(金)	・書類作成方法の説明 ・書類作成サポート	6 名
地域事務局連絡会議/研修会「事務局スタッフによるコーディネート～まちなね浜甲子園の事務局としての働きかけ～」	12 月 13 日(金)	講師：奥河 洋介（HITOTOWA INC. 執行役員） 井川 舞（一般社団法人まちなね浜甲子園代表理事）	40 名



▲持続可能なまちづくり研修



▲あかしまちづくり懇談会

④ その他、推進に必要な取り組み

協働まちづくりを推進していくうえで、学校教育や地域福祉など地域づくりに関連する各種テーマに取り組む明石市内の関係機関と、随時情報交換や連携についての打ち合わせを行った。またその中で、意見交換のファシリテーションスキルなど、当法人が持つノウハウを活用した具体的なサポートも行った。このような関わりから、今後も協働のまちづくりにつながる連携を模索していく。

その他、校区まちづくり組織の状況が変化する一方で、今年度は担当課及び当法人ともに地域支援担当に初任者が多く地域支援体制の基盤整備が必要な状況であったため、他市町の自治体や中間支援組織と連携し、地域支援の合同研修を実施した。

【関連部署との連携内容】

連携機関	連携内容
明石市教育委員会学校教育課 (及び各小学校)	・地域づくりと学校連携における情報交換 ・学校教員と地域住民の意見交換におけるファシリテーション支援 など

地域支援者合同研修	開催日：11 月 26 日(火)13:30～16:30 参加者：32 名(5 自治体) 会 場：ウィズあかし和室及びオンライン 事例紹介者：行政職員/明石市役所、佐用町役場 中間支援組織/明石コミュニティ創造協会、合同会社ひとむすび
-----------	--

(2) 校区直接支援

今年度はまちづくり計画策定に向けて、ほぼ全校区が策定に着手している状況となった。従来のプロジェクトチームの設置やアンケート、意見交換会等ではなく、より校区性に合わせた策定手段をとる校区も生まれており、支援者側も柔軟にアドバイスや事例提供、話し合いの支援を行った。

その他の交付金校区等についても、まちづくり懇談会や事務局座談会、各種研修をきっかけに新たな動きや見直し等について、地域の状況に合わせて支援を進めた。

① 地域交付金受託校区

交付金受託校区は主に組織体制や活動の見直しに向けて、会議や意見交換のサポート、また他校区の事例など情報提供を通じて支援を行った。

校区名	朝霧 / 人丸 / 中崎 / 大観 / 鳥羽 / 和坂 / 藤江 / 花園 / 山手 / 大久保 / 清水 / 錦浦 / 二見
-----	---

② 計画書策定・見直し校区

まちづくり計画を策定するための会議や意見交換の場づくり、組織強化につながる支援や、今後の活動を検討していくための情報提供などを中心に実施した。

校区名	明石 / 松が丘 / 王子 / 沢池 / 貴崎 / 大久保南 / 谷八木 / 高丘東 / 魚住 / 二見北 / 二見西
-----	---

③ その他校区

まちづくり計画策定に着手前の校区に、組織体制や活動など各校区まちづくり組織に必要な支援を通じて、計画策定に向けた意識付けを行った。

校区名	高丘西
-----	-----

④ 西明石活性化推進協議会（野々池地区）への支援

2022 年度から始まった西明石活性化推進協議会（野々池地区）による上ヶ池公園の活用検討では、今年度に「上ヶ池公園プランづくりグループ」を編成し、提案書の作成を進めた。10 月には提案書の形が整い、明石市へ提出することができた。

本提案書の取りまとめにあたっては、ハード面の整備以上に、ソフト面での活用を重視し、段階的な取組として STEP1～STEP4 に分けた段階的な取り組みによる活用方法を提案している。

II. 生涯学習の推進事業

中学校コミセン改革においては、登録サークル制度の見直しが具体的に進んだ1年であった。登録制度が作られた背景や期待されていた役割を改めて確認するとともに、各コミセンで活動するサークル団体がより地域社会につながっていくことを期待し、中学校コミセンとコミュニティ・生涯学習課とともに制度の運用のより良いあり方に向けて、サークルへの呼びかけなどが行われた。次年度以降は、それらを後押しするためにもより一層のコーディネート機能の強化が必須となっている。

同じくコーディネートが重要となるあかねカレッジは4年目を迎え、すべてのコースの運用が行われた。既存の受講生にとってはそれぞれに合わせた学びや活動の機会へのコーディネート、新規の利用者に向けては新しい学びの場へと誘う呼びかけが必要となっており、それぞれの対応を進めた。しかし、まだ十分とはいえず次年度以降も引き続き、学びや活動へとつなぐ支援を強化していきたい。

1. 中学校コミセン改革支援事業

今年度は、中学校コミセンの今後の運営のあり方を見直し、検討していく中で大きな課題であった、サークル登録制度について取り組んだ。「登録制度検討プロジェクト会議」において、登録サークルの活動を地域社会に広げていく必要性について議論されるなど、少しずつ現在の登録サークルへ期待することが言語化されつつある。それらを踏まえ、実際にまちづくり協議会や地区社協、高年クラブ等地域団体への声かけが生まれるなど、サークル活動を通じた地域連携が進み始めている。

また、市民講座やあかねカレッジライトコースなどにおいても、地元講師や地域団体との連携を積極的に進めようというコミセンが複数あった。そのようなコミセンに対しては個別支援を行うことで、今後の連携が生じ始めている。

登録制度の見直しが進められたことで、今後は具体的なコーディネートや支援機能の充実につなげること、またそのためにもエリアマネージャーや職員への意識啓発を進め、「地域の学びのハブ」の支援をしていくことが重要だと捉えている。

(1) 各中学校コミセンへの支援

各中学校コミセンの運営状況の把握を行いながら、それぞれのエリアマネージャーのモチベーションや課題意識に合わせて、「学びのハブ」としての機能が充実していくように個別に運営支援を行った。講座企画や場づくりなどの事例化が積み重ねられつつある。

【支援内容】

コミセン	注力した支援ポイント
錦城	・写真展を通じた新たな施設利用のあり方の模索・支援
魚住東	・子育て世代を対象とした出張講座の企画支援
大久保北	・SNS 導入や HP 分析など、中学校コミセンにおける情報発信に関する支援

魚住	
二見	・ フリースペース整備に向けた支援

(2) 全中学校コミセンに向けた支援

① エリアマネージャーへの意見交換・情報交換の機会づくり

全エリアマネージャーが一同に介する「エリアマネージャー会議」では、エリアマネージャーが中学校コミセンの運営で気になっているテーマやこれからの運営で必要なポイントなどについて、意見交換や情報交換を支援した。また、中学校コミセンの学びのハブ化に向けて、検討すべき重要な課題やテーマについては、その内容に絞った意見交換・情報交換の機会づくりを行った。

【支援内容】

研修機会	回数	内容
エリアマネージャー会議	11 回	・ コミセン内施設での飲食のあり方について ・ 南海トラフ等災害時の対応について ・ 2024 年度の市民講座について ・ ライトコースオリエンテーション、1 年をふりかえる交流会について ・ 市民活動団体アンケートについて ・ 登録制度検討プロジェクトについて ・ 登録サークルの公益活動について など
登録制度検討プロジェクト会議	4 回	・ サークル制度改革の今後の進め方 ・ サークル制度見直しの具体策の検討 ・ 理想のサークルに向けたステップ ・ 登録説明会の開催方法について など

② 研修機会の実施

中学校コミセンが学びのハブとして機能していくために、エリアマネージャーや職員などに必要な知識やスキルを得られる研修機会を企画・実施した。今年度は、広報について各コミセンからの積極的な情報発信を促進するため、ホームページの更新方法についての勉強会を例年どおり開催した。

【開催内容】

研修機会	開催日時	内容	延べ参加者数
まちナビ AKASHI 中学校コミセンページの更新研修	5 月 31 日(金) 6 月 14 日(金) 各 14:00~16:00	・ ブログ記事の書き方 ・ 画像データの更新方法 ・ 固定ページの編集方法 など	19 名

③ 拠点・制度等の整備

昨年度末に発足したエリアマネージャーとのプロジェクト会議において、サークルなどの中学校コミセン登録制度のあり方の見直しの検討を継続した。その場での意見交換を有意義なものにするために、プロジェクト会議開催前後に担当課との調整の場として、検討会議を行った。

【支援内容】

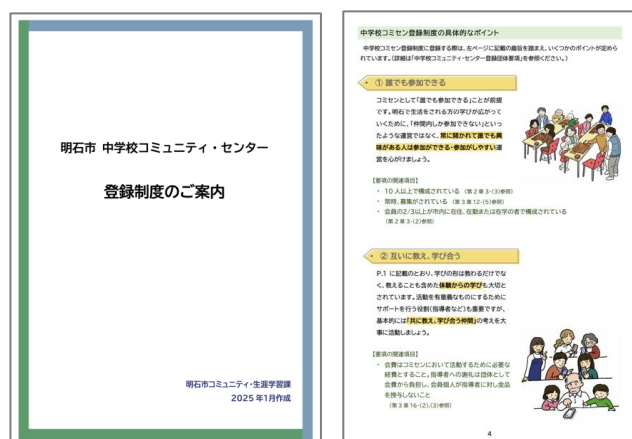
研修機会	回数	内容
コミュニティ・生涯学習課との登録制度のあり方検討会議	6 回	・現状のサークル制度に対しての課題と理想の整理 ・具体的な改革施策、進め方の検討 ・各種要綱の見直しについて ・活動計画書など各種様式の検討 など

④ 広報支援

まちナビ AKASHI における各コミセンのホームページの運営支援の他、複数のコミセンが独自に実施している「LINE 公式アカウント」の運営支援を行った。サービスの仕様が変更されたことに伴い、改めてサービス・制度の現状を可視化し、中学校コミセンにおいてどのような活用方法があるかについて、エリアマネージャー会議で情報提供をした。

⑤ 中学校コミセンサークル登録制度説明会の開催支援

サークルの登録制度検討プロジェクト会議を反映した新要綱をもとに、市全体で開催となった登録制度説明会の開催のサポートを行った。また、中学校コミセンの役割やサークル登録制度の意図が誰でもわかりやすく理解できるように手引き「明石市中学校コミュニティ・センター登録制度のご案内」を作成した。



▲明石市中学校コミュニティ・センター登録制度のご案内

2. 高齢者の主体的な学習機会支援（「あかねカレッジ」の運営支援）

今年度は、ライトコースと科目別コース 10 学科に加え、昨年度受講生が集まらなかった地域 de 活かすコースも開講でき、ようやく 3 コースすべてが運用開始の年となった。

今後はコースの特色を活かしながら、受講生それぞれが自身のペースに合わせた学びや活動のきっかけをつくっていくことが重要になる。そのため今年度は科目別コースの 1 学科のコーディネートを

担当し、講師を担いつつ学びの出口の模索や、コース間の連携を促す広報ツールの開発などを重点的に進めた。

今後は上記に加え、新たな受講生の掘り起こしに向け、広報のあり方やあかねカレッジ自体の仕組みなど、必要な部分は見直すことを前提に取り組んでいく。

(1) あかねカレッジ各コースのコーディネート及び運営支援

あかねカレッジ4年目となる中で、ライトコースを中心にカレッジ全体の現状分析を行い、課題点などを整理するとともに、同時に改善に向けた企画提案を行った。その中で特にコース間の学びの循環を促していくために、新たな広報ツールの開発を行った。



【取組内容】

▲あかねカレッジ通信

内容	詳細
各種データ等の運営状況の分析・実態把握	・あかねカレッジにおける学びの循環状況などを把握するために、ライトコース運営現場の訪問や、各コミセンの申込状況や「1年をふりかえる交流会」アンケートなどライトコースを中心としたデータ分析
会議等での各コースの企画に関する助言などの支援	・科目別コースからの出口支援など各コース間の連携のあり方やカリキュラム内容の検討、新規受講生獲得に向けた広報戦略の企画・検討
各コースの実施内容の周知に向けた企画・実施	・各コース間のステップアップ受講に向けて、3つのコースの受講内容がわかるような情報誌「あかねカレッジ通信」の企画・発行支援（年3回発行）

(2) ライトコースの運営支援

ライトコースの運営にかかる資料作成や各コミセンからの問い合わせ対応など、ライトコース全般の支援を行った。今年度はこれまで実施していた「ロールモデル講座」を見直し、学んだ知識を活かす体験へとつなげることを目的とした「インプット・アウトプット講座」にリニューアルするなど、ライトコース内での学びの循環を目指した。



▲科目別コース 広報デザイン学科

【取組内容】

内容	詳細
ライトコースの運営支援	・コミセンからの相談・サポート対応 ・運営にかかる資料・データの作成 ・その他運営にかかる支援
講座の企画実施・運営支援	・インプット講座の企画・実施（全6回） ・アウトプット講座の企画・コーディネート（全11回） ・オンライン講座の運営支援（全11回） ・ふり返り会の企画見直し
ホームページ及びデータベースの運営・保守管理	・あかねカレッジホームページの運営 ・データベース kintone の運用・保守
広報物の作成・PR	・ライトコース講座一覧の作成 ・ホームページの運営・新たな SNS の開設支援
翌年度ライトコースの開催準備	・受講生ファイルの準備 ・各種グッズの作成・配布

（３）その他、あかねカレッジ全体の運営にかかる企画・支援

あかねカレッジの対象となる市民に対し、学びのきっかけを提供するために、翌年度の受講案内パンフレットやチラシ、ホームページの作成を行い、広く広報を行った。市民にあかねカレッジの内容がイメージしやすいよう、あかねカレッジ事務局と調整し、自治会回覧で配布されるチラシの中身を充実させた。



▲あかねカレッジ 2025 年度入学者募集チラシ

Ⅲ. 公共施設の管理運営事業-複合型交流拠点ウィズあかしの運営-

ウィズあかしの運営において、「わたしとまちがつながる交流拠点」をコンセプトとする第2期指定管理期間（2023～2027年度の指定管理期間、以下「2期目」）の2年目となる2024年度は、第2期指定管理期間の1年目（2023年度）で築いた土台をもとに、より多様な市民が多様なひと・もの・ことにつながるために「イメージチェンジ」をテーマとした。

1. 複合型交流拠点ウィズあかし（明石市生涯学習センター及びあかし男女共同参画センター）の運営

2024年度のテーマである「イメージチェンジ」を進めるにあたり、3つの重点方針を立て運営をした。

1つ目の「事業展開によるまちへのアウトリーチ」と2つ目の「まちなかの社会的資源の情報収集・整理と提供」については、連動して進めることができた。具体的には、「明石コラボミーツ～ひらめき交流会～」を実施したことである。ウィズあかし主催で、まちなかで開催したことで、参加者へのウィズあかしのPRはもちろん、現地でうまれた参加者同士のつながりや、まちなかでの活動場所の提案など、その後のウィズあかしでのコーディネートに活かせる社会的資源との出会いの機会とすることができた。また、ボランティア・マッチング制度「ボラ×マチ AKASHI」を通して、つながりが薄かった活動団体（市内のNPO法人やウィズあかしで貸室利用をしている活動団体など）との関係構築が進み、多様な活動団体の情報を収集・整理し、提供する取り組みへとつなげることができた。

3つ目は「つながる拠点」としての認知度向上」である。その実現に向けて、まずは「つながる拠点」を目指した「相談・コーディネート機能」の充実が重要だと考える。そこで、相談・コーディネートの大きな役割を担う「8階受付窓口」のリニューアルを実施した。具体的には、貸室予約エリアと鍵・備品渡しエリア、そして相談・コーディネートエリアの3つのエリア分けを行うことで、利用者が相談のしやすさを感じやすくなり、気軽にコミュニケーションがとれる環境づくりを進めた。また、リニューアルの様子をSNSなどで発信したり、利用者に機能や場の紹介をしたりすることで、「つながる拠点」としての認知度が徐々に広がりつつある。

そのほかに、昨年度から実施している、ウィズあかし専門委員会（**後述**）2. 施設管理運営④ 市民みんなで作るウィズあかしを考える会議「ウィズあかし運営委員会」の開催（P.26）を今年度も実施した。各センターとしてのあり方や複合的だからこその取り組みなどアイデアをいただく機会として開催した。重点方針に加え、「わたしとまちがつながる交流拠点」の実現に向け、今後の具体的なアイデアを検討する取り組みも行った。また、市民活動団体や利用者などからもアイデアをいただく「ウィズあかし運営委員会」では、ウィズあかし専門委員会の報告および意見交換を実施した。

（1）まちの魅力の発信、可視化・まちを深める市民研究を拡げる（提案事業）

2期目のコンセプト「わたしとまちがつながる交流拠点」の実現に向けて、「ローカルグッド・あかし」を中心に企画を進めた。先進事例の調査やヒアリングを経て、ウィズフェス 2024（**後述**）（2）生涯学習（高齢者学習含む）と市民活動及び男女共同参画の連動（複合型事業）② 複合型大型イベント

の実施「ウィズフェス 2024」の開催 P.12) 内に特設ブースを設置した。市民の中に、明石への関心が広く存在する一方で、それが表面化していない現状が見え、今後の事業展開に向けたヒントを得ることができた。

(2) 生涯学習（高齢者学習含む）と市民活動及び男女共同参画の連動（複合型事業）

① 誰もが参加できる多様なコミュニティサロンの検証と充実

だれもが気軽に好きをもちよるオープンなサロン「Like café つむぎ」では、カフェ形式を採用したり、テーマを幅広いものに設定したりするなど、参加のハードルを下げて実施した。また、グループ相談機能をもったクローズドなサロン「ミモザの会」では、各回テーマ設定や定員の増加などブラッシュアップを行いながら実施した。

【開催内容】

テーマ	実施回数	延べ参加者数
おとなのぬりえサロン	12 回（毎月第 4 水曜日）	189 名
Like café つむぎ	24 回（毎月第 2 土曜、第 3 金曜日）	178 名
ミモザの会	12 回（毎月 1 回） ※ 6・11・12 月是不開催	44 名

② 複合型大型イベントの実施

複合型大型イベント「ウィズフェス」では、出展者や来場者が新たな知識や価値観に触れ、「視野を広げる」ことを目的とし実施した。今年度は、出展内容が多様になるよう出展団体の選定や、1 階アトリウムコートのエレベーター前にインフォメーションブースを設置した呼び込みなどを行い、多くの方が参加してみたくなる仕掛けを行った。

【開催内容】

講座名	開催日	内容	延べ参加者数
ウィズフェス 2024 出展者募集説明会	8 月 24 日(土)	ウィズフェス 2024 の概要説明と交流・意見交換場として開催	36 団体 (45 名)
ウィズフェス2024キックオフミーティング	10 月 26 日(土)	ウィズフェス 2024 概要説明/交流・意見交換/各コンテンツに分かれた質疑応答	46 団体 (56 名)
ウィズフェス2024「ウィズミーツ」	12 月 14 日(土)	市内で活動する多様な団体、個人が様々な形式のコンテンツで自らの活動のPRや出展、体験会、演奏などを行う大型イベント	439 人
ウィズフェス2024「みんなの学校」	12 月 15 日(日)		447 人

③ 9 階稼働率向上に向けた取り組み

明石文化国際創生財団と共催で「ひとつぶのたねクラシックコンサート」を開催し、9 階施設の

稼働率の向上に取り組んだ。

【ひとつぶのたねクラシックコンサート開催状況】

開催日	延べ参加者数
5月11日(土)、7月13日(土)、1月11日(土)	523名

(3) 生涯学習活動・地域で活躍する人材の発掘及び育成支援

① 「みんなの学校」等を通じた人材発掘と市民講師の育成

市民講師がチャレンジできる場の創出と、それぞれの学びを届けたい対象に届けるための考え方やプログラムのつくり方を学べる講座を実施した。

【開催内容】

講座名		開催日	内容	参加者数
チャレンジ屋台 「今日の終わりにちょこっと夜学」	開催当日 (1日目)	4月12日(金)	①講師：mioko テーマ：大人女性を美しくする 「手作り石けんの世界」 ②講師：やまちゃん テーマ：見えた世界から見えない世界へ	11名 ライブ 視聴 9名
	開催当日 (2日目)	4月19日(金)	①講師：かふえぼん テーマ：紙芝居は万能コミュニケーションツール！ ②講師：かこりん テーマ：あなたの人生・なりたい自分に	13名 ライブ 視聴 10名
	ふりかえり会	4月28日(日)	イベントをふりかえり、今後の活動につなげる機会として実施	4組
アートパフォーマンスフェスティンあかし	交流説明会	9月28日(日)	11/23 のイベント当日に向けた趣旨説明や出展者同士の交流機会として実施	4名
	オープンデー	10月12日(土)	11/23 のイベント当日に向けた作業日として実施	3組
	リハーサル	11月2日(土)	11/23 のイベント当日に向けたリハーサルとして実施	4組
	開催当日	11月23日(土)	市民講師などの経験が浅い活動者のスキルアップ及びウィズフェス 2024 の認知度向上を目的とし参加	5組
ウィズフェス2024「みんなの学校」		12月15日(土)	市内で活動する多様な団体、個人が体験や授業形式で自らの活動内容等を市民に伝えるイベント	32組
仲間・参加者を広げるための講座・ワークショップのつくりかた講座	プログラム整理編	3月1日(土)	参加者それぞれの活動や想いを届けたい人を明確化させ、対象者目線に立ったプログラムになる為にワークシートを用いてグループワーク等の実施 講師：鈴木（スタッフ）	7名
	伝わる広報編	3月15日(土)	プログラム整理編で行った内容を踏まえ、広報を行う際に必要な情報の整理や、活動や想いを届けたい相手に響く表現を考える機会として、ワークシートを用いた講座の実施 講師：鈴木、奥谷（スタッフ）	13名

	広報実践編	3月19日(水)	チラシづくりのポイントや見せ方のコツを伝えた後、「Canva」を実際に使用し、操作方法を直接サポートする実践形式の講座の実施 講師：奥谷（スタッフ）	7名
--	-------	----------	---	----



▲アートパフォーマンスフェスティンあかし



▲仲間・参加者を広げるための

講座・ワークショップのつくりかた講座

② ウィズあかし登録メンバーズ制度を通じた人材発掘と育成

登録メンバーズを中心とした交流機会「ウィズゆう」では、1年間の活動目標や活動のなかでの困りごと、1年間のふりかえりを各回のテーマとして開催した。意見交換では、それぞれの団体ならではの経験や知識を交換でき、今後の活動のヒントを得られる機会となった。

◎登録団体数：228 団体 ◎フリースペースでのイベント開催数：271 件

【開催内容】

開催日	延べ参加者数
8月24日(土)、11月16日(土)、3月15日(土)	56名

（４）生涯学習事業の推進

① シビックプライドを醸成するための「あかしウエルカムプレイス」の設置

市民がまちに愛着を持ちその人らしく関わりたいと思うきっかけをつくるために、明石を知る機会として「あかしウエルカムプレイス」を昨年度に引き続き運用した。生涯学習に限らず、男女共同参画や市民活動に関する情報も設置することで、自分自身の思いやまちでの活動につながるきっかけとなることを目指した。

【取り組み内容】

開催月	内容
4月	「こども読書の日」をテーマにした特設ラックを設置
5月	「お金のいろいろ」をテーマにした特設ラックを設置
6月	「男女共同参画」をテーマにした特設ラックを設置
7月	「防災」をテーマにした特設ラックを設置 「10年後、20年後に残したいあかしの景観アンケート」の設置

8 月	「夏休みなににする？」をテーマにした特設ラックを設置
10 月	「読書の秋」をテーマにした特設ラックを設置
11 月	「明石のまちを楽しむMAP あかし×パン学編」の設置
12 月	「あかしのアート（文化）に出会う」をテーマにした特設ラックを設置
2 月	「公開講座特集by明石高専」をテーマにした特設ラックを設置
3 月	「助成金」をテーマにした特設ラックを設置

② 新たな活動につなげるコーディネート

講師の情報登録の簡便さとコーディネート時の利便性を向上するためにリニューアルした「web 版講師カタログ」では、講師を探している人・依頼したい人と登録講師がマッチングできるように、まずは Web 版講師カタログ自体の認知度を高めるために、チラシの作成や SNS での情報発信を進めた。

◎登録講師数：30 名



▲web 版講師カタログのチラシ

③ つながる本棚 hito-haco の運営及びブックスポットへの支援

hito-haco の魅力発信及び認知度向上のために「hito-haco 本棚オーナー募集説明会」を開催した。すでに、オーナーになっている方も参加され、初めての方にオーナーの声を直接伝えられる機会となった。また、インスタグラムでの情報発信や新規ホームページの公開を行い、広報強化に取り組んだ。

【開催内容】

企画名	開催日	内容	参加者数
hito-haco 本棚オーナー募集説明会	11 月 22 日(金) 11 月 23 日(土)	本を通じて、明石を知ることや自分の好きな本で「自分らしさ」を表現できる本棚オーナーを募る機会として実施	延べ 3 名

【取り組み内容】

開始月	内容
3 月	「明石まちなかブックスポット」の各拠点情報を、まちナビ AKASHI 内にホームページ掲載

④ まちの魅力と出会うための地域学講座の実施

地域学講座「あかし楽講座」では、受講者一人ひとりの学びが自身らしい次のアクションにつな

がること、また、まちとの新たなつながりを生み出すきっかけとなることを目的に、プログラムを見直し、実施した。具体的には、講座全体に一貫したテーマ性を持たせつつ、各回の内容に変化をつけるプログラムとした。また、「明石」や「パン」といった地域にゆかりのあるテーマを軸に、地域に縁のある講師を招くなど、実験的な試みも取り入れた。

その結果、これまで参加者層としては比較的少なかった親子層や壮年層へのアプローチにでき、講座終了後には実際にまちに出かける参加者も見られるなど、地域への関心や行動変容を促す機会となった。

【開催内容】

講座名	開催日	内容/テーマ	参加者数
あかし楽講座「あかし×パン学 SNS 編」明石のおすすめパン屋さん、好きをたのしむヒント	10 月 19 日(土)	兵庫県内のパン屋を紹介・発信しているインスタグラマーの講師が明石のおすすめのパン屋さんを紹介。そして自分の好きなものを通してまちを楽しむ講師にその楽しみ方を学ぶ 講師：あこパン（兵庫パン屋紹介インスタグラマー）	26 名
あかし楽講座「あかし×パン学 絵本編」親子で楽しむおいしいパンの本～秋の読み聞かせとおしゃべり会～	11 月 2 日(土)	パンが登場する絵本の読み聞かせや、大人も楽しめるパンの本の紹介、パンをテーマにした交流 講師：あかし市民図書館	16 名
あかし楽講座「あかし×パン学 給食編」明石の給食パンの今昔と思い出に残る「食」へのこだわり	11 月 17 日(日)	明石市内の学校給食パンをつくる企業の人の思いやこだわりを聞く 講師：大林 聖典（株式会社大林パン代表）	27 名
あかし楽講座「あかし×パン学 食事編」明石で愛されるパン屋のこだわりとプロが教えるパン・食の楽しみ方	11 月 24 日(日)	明石市内にあるパン屋さんからこだわりや、毎日食べたくなるおいしいパンや食の楽しみ方を聞く 講師：森内 祐吾（こむぎ堂店主）	33 名



▲あかし楽講座「あかし×パン学 SNS 編」



▲あかし楽講座「あかし×パン学 絵本編」

⑤ まちをより深めるための「マイあかし学学会」の実施・検証

市民それぞれが興味のある明石の「ひと・もの・こと」を主体的に探求し、その成果を発表・共有する場としてマイあかし学学会を来年度の夏から秋頃に開催することに向けて企画を進めた。また、マイあかし学研究所全体の仕組みや仕掛けなどの整理を進めた。

⑥ 子育て・ユース世代支援強化による全世代への学習機会の実施

全世代へ学習機会を提供していくために、子育て世代へのアプローチとして、他機関と共催したり、関心の高そうな「資産運用」をテーマにした講座を実施した。

【開催内容】

講座名	開催日	内容	参加者数
女性のための資産運用セミナー	5 月 15 日(水)	女性が労働以外に収入を得る手段である資産運用を学ぶための機会として開催 講師：武田 拓也（FP、社会福祉士）	18 名
「人材が定着する！誰もが働きやすい職場づくり」	6 月 25 日(火)	兵庫県立男女共同参画センター・明石商工会議所共催 女性活躍の重要性を企業に啓発する機会として開催 講師：藤原 弥季（社会保険労務士）	11名 ライブ 視聴 3 名
おはなしたべちゃえ「ひなまつりでカップケーキパーティー」	3 月 1 日(土)	あかし市民図書館共催 絵本に出てくるカップケーキをつくり、本に興味をもつ機会として実施 講師：Chisato（alala cookingclub主宰）	14 名

⑦ その他の取り組み

あかし楽講座のあり方や、来年度のあかし学研究所の開設に向けて全体像に関する意見交換をする場としてあかし学実行委員会を開催した。また、明石文化国際創生財団と共催で合理的配慮について学ぶ研修を実施。子午線ホールを会場とし、車いすの介助方法やイベント企画時のポイントを学ぶ機会となった。

【開催内容】

講座名	開催日	内容	参加者数
あかし学実行委員会	7 月 23 日(火) 2 月 7 日(金)	2024年度のあかし楽講座について	8 名
アートマネジメント講座「障がい者の舞台芸術鑑賞への合理的配慮に関する研修」	2 月 26 日(水)	公益財団法人明石文化国際創生財団共催 子午線ホールでの車いすの介助方法・イベント企画時のポイントを学ぶため実施	19名

（５）市民活動の支援及び地域、行政との協働の推進

① ステップアップのための講座や交流会の開催

昨年度に続き、市民活動団体の持続的な活動や活動の広がりを見据えて、「助成金」と「広報」をテーマに学びの機会を提供した。特に「広報」においては、活動内容や今後の情報を伝えるときに、主催者の思いだけが先行するのではなく、情報を届けたい相手目線に立った伝え方・見せ方を考える機会として勉強会を実施した。

【開催内容】

企画名	開催日	内容	参加者数
NPO・地域活動の資金調達力を高める！助成金申請のコツ キホン編	4月7日(日)	市民活動団体が活動の発展に向けて、助成金のしくみや助成団体側の背景を知り、申請のコツを学ぶ 講師：木上、濱田（スタッフ）	8名
イベントや講座のタイトルのつけ方に困っている人向け！タイトルのつけ方プチ講座	8月24日(土)	実施するイベントが、どういう見せ方が参加に繋がりをしやすいかを学ぶ講座 講師：濱田（スタッフ）	45名
あかし市民活動応援助成金 発表・交流会	2月8日(土)	明石市コミュニティ・生涯学習課共催 2024年度助成金採択団体を対象とした活動発表・交流会の企画運営を実施	36団体 68名
教えて！先輩「新しい仲間との出会い方」～ボランティア募集成功体験談を聞いてみよう～	2月15日(土)	ボランティア募集と受け入れを行った2団体から実践事例を聞くセミナーを実施 ゲスト：石井 昭嘉（ウェルネスハート） 鈴木 祥子（しぇんしぇん遊文庫）	4名
仲間・参加者を広げるための講座・ワークショップのつくりかた講座(プログラム整理編)	3月1日(土)	参加者それぞれの活動や想いを届けたい人を明確化させ、対象者目線に立ったプログラムになるために、ワークシートを用いてグループワーク等を実施 講師：鈴木（スタッフ）	7組
仲間・参加者を広げるための講座・ワークショップのつくりかた講座(伝える広報編)	3月15日(土)	プログラム整理編で行った内容を踏まえ、広報を行う際に必要な情報の整理や、活動や想いを届けたい相手に響く表現を考える機会として、ワークシートを用いた講座の実施 講師：鈴木、奥谷（スタッフ）	13組
仲間・参加者を広げるための講座・ワークショップのつくりかた講座(広報実践編)	3月19日(水)	チラシづくりのポイントや見せ方のコツを伝えた後、「Canva」の操作方法をサポートする実践形式の講座の実施 講師：奥谷（スタッフ）	7組
NPO・地域活動の資金調達セミナー 助成金申請のコツ！第1回	3月30日(日)	NPO・地域活動の財源・資金調達について考える講座の実施 講師：木上（スタッフ）	14名

② SNSやメール等を活用した活動の参考になる情報の発信・共有

明石ボランティア・マッチング制度「ボラ×マチ AKASHI」の運用に伴い、モバイルメッセージングアプリケーション「LINE」を活用し、ボランティアを募集したい団体の情報を発信できる仕組みをつくった。

◎公式 LINE 友だち登録者数：104 名 ◎LINE 配信数：16 件 ◎ボランティア募集件数：18 件

③ エリア別・テーマ別の交流・活動機会の実施・検証

地縁型市民活動団体と分野別市民活動団体の交流の機会として「明石コラボミーツ～ひらめき交流会～」を、大久保エリアで開催した。

【開催内容】

企画名	開催日	内容	参加者数
明石コラボミーツ～みんなのひらめき交流会@大久保 第1回事前研修	2月6日(木)	イベント情報詳細・まちの中での活動の現状・コミュニケーション方法、板書の書き方など事業開催に向けて市民ファシリテーターへの研修を実施	10名
明石コラボミーツ～みんなのひらめき交流会@大久保 第2回事前研修	2月20日(木)	事業当日を想定したファシリテーションの実践。2人組に分かれて実際に交流会の意見の書き出しや整理の研修を実施	9名
明石コラボミーツ～みんなのひらめき交流会@大久保	3月9日(日)	大久保エリアで活動する人が、自分の想いを話したり、話を聞いて応援したり、活動をコラボさせたりする交流会を実施	46名

(6) 男女共同参画・女性の活躍推進

① 男女共同参画に関する先駆的テーマの普及啓発

多くの方が男女共同参画に触れる機会づくりのために、ボードゲームなどを活用した企画にするなど、参加のハードルを下げる取り組みを実施し普及啓発を進めた。

【開催内容】

企画名	実施日/期間	内容
若年層性暴力被害予防月間	4月1日(月)～30日(火)	内閣府が定めた若年層の性暴力被害予防月間におけるポスター、本の企画展示
パパの家事育児応援イベント「パパ応援DAY」	6月15日(土)	<u>インクルーシブ推進課共催</u> 男性の育児参加を促す目的で実施 参加者：238名
男女共同参画週間	6月23日(日)～29日(土)	①あかし男女共同参画週間映画観賞会 「ストーリー・オブ・マイライフ」 参加者：428名 ②女性活躍応援セミナー 「人材が定着する！誰もが働きやすい職場づくり」 開催日：6月25日 参加者：14名 講師：藤原 弥季（社会保険労務士） ③ <u>あかし市民図書館連携</u> 図書等の企画展示 ④シールアンケートの実施
さとおや月間	10月1日(火)～31日(木)	<u>さとおや課、あかし市民図書館連携</u> 図書や資料の展示を行い里親制度の啓発
パープルリボンキャンペーン (女性に対する暴力をなくす運動)	11月12日(火)～25日(月)	①ワークショップ 「おおきなパープルリボンを作ろう！」 開催日：10月22日 参加者：10名 ②講演会「イマドキの性のおはなし」 開催日：11月10日 参加者：30名 講師：大石 真那（NPO 法人HIKIDASHI 代表） ③ボードゲーム体験会「これからの性の学び方」

		開催日：11 月 24 日 参加者：5 名 ④図書等の企画展示、啓発用ティッシュの配布
トークイベント「シングルマザーの子育て大奮闘記」	1 月 13 日(祝月)	<u>とうばんウィズ共催</u> 男女問わず自分らしく生きる社会を目指して実施 参加者：24 名 講 師：中道 麻美（赤帽 ash 急送代表）
国際女性デー	2 月下旬 ～3 月 8 日(土)	図書等の企画展示

② 当事者・家族等に対するエンパワメントセミナー

相談者の傾向やニーズ、社会全体の流れを読み企画づくりを進めることで、当事者だけでなく援助する側へのアプローチも進めながら持続的なエンパワメント支援を行った。

【開催内容】

講座名	開催日	内容	参加者数
コラージュで自己表現	7 月 10 日(水) 12 月 7 日(土) 3 月 8 日(土)	コラージュの手法を使って自分を表現する場として開催	延べ 33 名
本をとおして自分と向き合う時間	5 月 23 日(木) 7 月 25 日(木) 9 月 7 日(土) 11 月 14 日(木) 1 月 18 日(土) 3 月 13 日(木)	テーマに関心のある人を対象に本に関する自分の想いを他者に伝える機会を持つことで本をきっかけにした人とのつながりの場	延べ 95 名
対人援助職のためのマインドフルネス講座	1 月 25 日(土)	理論や実践方法を学ぶ機会として、対人援助職向けと初心者向けの講座を実施 講師：池埜 聡（関西学院大学人間福祉部教授）	38 名
「いま・ここ」を大切に、意識を向けたい方のためのマインドフルネス講座	2 月 15 日(土)		24 名

③ 多様なチャレンジを応援するキャリアデザイン・ライフデザイン支援の実施

ハローワークや兵庫県立男女共同参画センター、地元の企業（シバニ化粧品）など多様な主体と共催や連携で機会づくりを進めた。

【開催内容】

講座名	開催日	内容	参加者数
女性のための資産運用セミナー	5 月 15 日(水)	<u>ハローワーク明石マザーズコーナー共催</u> 保育やライフステージに合わせたお金の知識とライフプランにあった働き方を考える機会として実施 講師：武田 拓也（FP、社会福祉士）	18 名

起業応援セミナーあかし 2024	8 月 3 日(土)	明石商工会議所、明石産業振興財団、日本政策金融公庫連携 市内で起業を目指す個人等を対象に創業の普及啓発や機運醸成を図り、起業家の発掘と支援として実施 講師：西山 志保里（株式会社078代表取締役）	15 名
働きたいママの再就職準備セミナー	10 月 23 日(水)	ハローワーク明石マザーズコーナー連携 明石市の保育制度やライフステージに合わせたお金に関する知識と情報を提供する場として実施	17 名
メイク・ヘアスタイル 所作・笑顔講座	11 月 9 日(土)	シバニ化粧品（明石の多様な美と健康を応援する会）、資生堂ジャパン株式会社共催 働くことに勇気が持てない方など、社会人としてのメイクや姿勢を学ぶことで採用面接での第一印象や周囲からの好感度をアップさせ、さらには自分の自信も高めることを目的として実施	20 名
出張！女性のための働き方セミナー 「はじめてさんのためのプチ起業セミナー」	2 月 8 日(土)	兵庫県立男女共同参画センター共催 プチ起業の基本的な流れやステップのほか、漠然とした不安やリスクへの対処法を学ぶことで自己実現や社会貢献を目指すことが目的とし実施 講師：中谷 恭子（オフィスネオカレッジ代表）	16 名

④ 自助グループの立ち上げ・運営支援に向けた準備

自助グループ立ち上げ支援では、申請受付及び制度に関し広報活動を行った。

（７）関係機関・団体、ネットワーク組織と連携した事業等の推進

多様な関係機関などとの情報交換のための会議や事業連携、外部機関への啓発活動を行った。今年度は、市内の企業など連携先の開拓、連携強化による事業展開を進めた。

【会議体】

連携機関	開催日
関係機関連絡会議	4 月 11 日(木)、6 月 13 日(木)、8 月 8 日(木)、10 月 10 日(木)、12 月 12 日(木)、2 月 13 日(木)
あか C ネット会議（明石文化関係施設等ネットワーク）	7 月 25 日(木)、2 月 13 日(木)
県内男女共同参画センター等連絡会議	5 月 23 日(木)、11 月 7 日(木)、2 月 5 日(水)
男女共同参画センター・DV センター連携会議	5 月 24 日(金)、2 月 27 日(木)

【連携事業】

連携機関	連携内容
明石市インクルーシブ推進課	・ パパの家事育児応援イベント「パパ応援DAY」（6月15日）
兵庫県立男女共同参画センターイープン	・ 女性のためのチャレンジ相談（通年） ・ 出張！女性のための働き方セミナー ～はじめてさんのためのプチ起業セミナー～（2月8日） ・ 人材が定着する！誰もが働きやすい職場づくり（6月25日）
明石商工会議所、明石市産業振興財団、日本政策金融公庫明石支店	・ 起業応援セミナーあかし 2024（8月3日）
明石文化国際創生財団	・ ひとつぶのたねクラシックコンサート（5月11日、7月13日、1月11日） ・ アートマネジメント講座「障がい者の舞台芸術鑑賞への合理的配慮に関する研修」（2月26日）
あかし若者サポートステーション	・ パープルリボンキャンペーン「おおきなパープルリボンをつくろう」（10月22日）
ハローワーク明石マザーズコーナー	・ 働きたいママの再就職準備セミナー（10月23日）
シバニ化粧品（明石の多様な美と健康を応援する会）、資生堂ジャパン株式会社	・ メイク・ヘアメイク 所作と笑顔（11月9日）
兵庫県男女共同参画推進員東播磨地域連絡会議（とうばんウィズ）	・ 「シングルマザーの子育て大奮闘記」トークイベント（1月13日）
明石市コミュニティ・生涯学習課	・ あかし市民活動応援助成金 発表・交流会（2月8日）
あかし女性応援ねっと	・ あかし女性応援メッセ（2月18日）
あかし市民図書館	・ おはなしたべちゃえ「ひなまつりでカップケーキパーティー」（3月1日） ・ 男女共同参画週間（図書・パネル企画展示、シールアンケート）（6月12日～29日）

【その他外部機関への啓発活動】

実施内容	延べ対象者数
神戸学院大学/大学院 心理学部実習生の受け入れ	12 名
あかし若者サポートステーション/ボランティア活動の場の提供	64 名
就労移行支援事業所 LITALICO ワークス明石/ボランティア活動の場の提供	3 名

（8）情報収集及び提供・発信

① “明石でいちばん広報物が集まる” 情報ブースの拡充による情報収集・発信

「情報ブース」では、多種多様なチラシが集まるなかで、社会の動向や今伝えたい情報をピックアップし、「特設ラック」に設置する取り組みを行った。これにより、情報ブース全体にメリハリ

を持たせ、利用者が注目してほしい情報にアクセスしやすい環境を整えた。

◎チラシ受付数：2,355 件

② 生涯学習・男女共同参画・市民活動を横断した総合ポータルサイトの運営

ウィズあかしの機能にアクセスしやすくするために、ウィズあかしホームページのトップページをリニューアルした。機能を 8 つのジャンルに分け、感覚的にアクセスできるようなレイアウトとした。



▲ウィズあかし HP のトップページ

◎年間アクセス数：91,051pv

③ ファンを獲得するための SNS での情報発信

ウィズあかしに興味関心を持つきっかけとして、インスタグラムを中心に SNS を活用し、利用者にインタビューしながら貸室やフリースペースを利用している様子を情報発信した。

◎フォロワー数

	X(Twitter)	Facebook	Instagram	YouTube
一般財団法人明石コミュニティ創造協会	37	493	—	—
複合型交流拠点ウィズあかし	1,097	635	790	163
あかし男女共同参画センター	752	—	—	—

いずれも 2025 年 3 月 31 日現在

④ ウィズあかしを使いこなすための広報紙の発行

昨年度まで発行していた「イベント情報紙 Ru,Ru,Ru」は廃刊とし、新たに「ウィズあかしの情報紙」を創刊した。本紙は、ウィズあかしをより効果的に活用してもらうことを目的とした広報媒体であり、まなびに出会うきっかけとなるコラムや、館内機能の紹介などを掲載している。ウィズあかしに関わりのある利用者が、さらに施設を活用できるよう、実用的かつ親しみやすい情報発信に努めた。

◎ウィズあかしの情報紙 670 部ずつ発行

(4-5 月号、6-7 月号、8-9 号、10-11 月号)



▲情報紙の表紙

(9) 各種相談

① 生涯学習・市民活動に関する相談・コーディネート

学習機会や団体活動に関する様々な相談や、必要に応じて適切な相談先や活動先などへのコーディネートを行うなど、市民の生涯学習や市民活動に関する相談に対応した。

【実施内容】

メニュー	件数	主な内容
------	----	------

相談	299 件	学習機会、団体・法人の運営・設立相談、会計相談、広報相談など
コーディネート	28 件	各種教室・サークル・ボランティア活動の機会へのコーディネート

② 性別に関わらず様々な悩みや就労についての相談

相談者のエンパワメントにつなげるため、相談室としての仕組みづくりを進めた。具体的には、ケースカンファレンスを通じて関係機関との連携を強化し、多様な視点からの意見交換を行うことで、相談室の支援の質の向上を図った。

【実施内容】

相談機能	実施日	内容	人数・件数内訳		
女性のための相談	火曜～土曜	女性問題カウンセラーによる女性の様々な悩みに対する電話・面接相談	電話相談	292 件	新規 73 件／再相談 39 件 ※内DV関連：18 件
			面接相談	205 件	新規 70 件／継続 135 件 ※内DV関連：40 件
ほっとライン	水曜 9:00～12:30 金曜 13:30～17:00	電話相談	180 件		
女性のための法律相談	第 3 木曜日	女性弁護士による無料法律相談	34 件		
就業相談	火曜～土曜	女性就労相談員による相談	・電話相談：0 件（新規：0 件） ・面接相談：206 件（新規：77 件） ・出張相談：21 件 ・夜の就業相談：1 件		
履歴書・職務経歴書の作成相談	火曜～土曜	女性就労相談員による応募書類の作成相談	64 件		
カードで発見！適職のヒント	火曜～土曜	女性就労相談員による適職に関する相談	41 件		
女性のためのチャレンジ相談	隔月 1 回	女性キャリアカウンセラーによる個別面接相談	21 件		
男性のための電話相談	第 3 水曜日	男性相談員による男性の様々な悩みに対する電話相談	21 件		

(10) 調査研究

利用者の声を拾い上げ、ニーズや課題を把握することで、だれにとっても使いやすい施設運営につなげることを目的に、利用者満足度アンケート調査を実施した。

【実施内容】

期間	12 月 3 日(金)～1 月 31 日(金)
回答数	928 件 (999 件)
実施方法	・貸室利用者に貸室鍵等とともにアンケート用紙を渡し、返却時に回収 ・主催事業の受講者にアンケート用紙を渡し、回収 ・無料施設など、館内 5 カ所にアンケート用紙と回収箱、またオンライン回答用の QR コードを設置し、回収

※ () 内は 2023 年度実績

(11) 協働のまちづくり推進事業支援業務との連携・協力

分野型組織に対する支援において、別事業である「協働のまちづくり推進事業支援業務」と連動させて取り組みを進めた。昨年度に引き続き、ウィズあかし窓口で寄せられる「あかし市民活動応援助成金」をはじめとした活動拡充に関する相談業務や NPO 等の法人設立など、活動のステップアップにつながる支援に注力した。加えて、今後の協働のまちづくりや市民による各種活動の支援のあり方を再考するにあたり、2016 年以来となる「明石市民活動・ボランティア活動実態調査」を実施した。

【実施内容】

明石市民活動・ボランティア活動実態調査			
期間	10 月 21 日(月)～12 月 8 日(日)		
回答数	509 件	配布数	919 件
実施方法	・対象：明石市内で分野型の市民活動を行っている団体、法人 (対象とする法人格を持つ団体は、非営利法人とし、営利法人は除く) ・実施方法：明石市内の市民活動に関するネットワークや支援団体・施設に協力依頼して調査、集計し、結果を分析する ・その他：3 月 15 日にウィズあかし登録メンバーズを対象に中間報告を実施 次年度第 1 四半期に調査報告書を発行予定		

(12) 利用者のニーズに合わせた利便性向上

生涯学習・男女共同参画・市民活動を推進・支援していくために、ウィズあかし 7・8・9 階に支援型の自動販売機を設置し、その売り上げを今後の原資とした。蓄積してきた原資の使い方の検討を進めている。

2. 施設管理運営

(1) 施設の管理運営

子午線ホールの利用の幅を広げることで、学習室以外でも大人数の利用ができる仕組みづくりを進めた。具体的には、子午線ホール利用時に、有料追加人件費が発生しない「シンプルプラン」を新設した。備品はスタッフで設置するものの、利用中の演出（照明の切り替えなど）には対応しないことで、追加人件費が発生せず、学習室 704 と同じ使用感で利用できる内容とした。こうした取り組みは、子午線ホールの利便性向上とあわせて、9 階の稼働率向上にも寄与することが期待される。

① 開館日数・来館者数・稼働率等

開館日数	307 日間（※参考：2023 年度 310 日間）	
来館者数	322,020 名 (291,752 名)	(内訳) 有料施設：190,863 名 (171,300 名) 無料施設（保育室）：1,019 名 (1,412 名) フリースペース：130,138 名 (119,040 名)
有料施設の稼働率	68.9% (66.5%)	

※（）内は 2023 年度実績

② 貸室別稼働率

2024 年度の有料施設における稼働率 68.9%（2023 年度 66.5%）

各部屋の詳細は別添「参考資料：貸室別稼働率一覧」のとおり。

③ 修繕・保守・点検等

相談・コーディネート機能の充実のために、8 階の総合窓口のカウンターやイス、棚などのリニューアルを行った。その他、適宜点検を行い、その際に異常が認められた箇所や故障した際に、明石市に提案及び必要に応じて修繕を行った。

④ 市民みんなでつくるウィズあかしを考える会議「ウィズあかし運営委員会」の開催

今年度の「ウィズあかし運営委員会」は、専門家と意見交換する場と幅広く意見を聞く場の 2 種類の機会を実施した。専門委員会では、多様なジャンルの専門委員とスタッフが各センター機能及び複合型の拠点としてのあり方について意見交換を行い、取り組みの見直しや今後の展開を考える機会となった。

【開催内容】

開催日	内容
5 月 29 日(水)	第 3 回ウィズあかし専門委員会「市民活動支援について」 現状や認識している課題の共有、キャッチアップしておく情報や視点などに対する意見交換を行った 参加委員：6 名 スタッフ：9 名

10月30日(水)	第4回ウィズあかし専門委員会「生涯学習について」 現状や認識している課題の共有、キャッチアップしておく情報や視点などに対する意見交換を行った 参加委員：5名 スタッフ：8名
2月28日(金)	第5回ウィズあかし専門委員会「これまでのウィズあかし専門委員会をうけて、ウィズあかしの今後の方針や取り組みについて」 3センターの機能・役割や、それぞれの視点から複合型としてどう展開するかなど、今後について意見交換を行った 参加委員：6名 スタッフ：7名
3月15日(土)	ウィズあかし運営委員会「ウィズあかし専門委員会の報告、意見交換」 これまでのウィズあかし専門委員会の報告、及び意見交換を行った 参加者数：8名

⑤ 市民サポーターの活動

市民が事業や拠点の運営に参画できるサポーター制度を運用した。図書サポーターにおいては、蔵書の整理だけでなく、本に関する企画展示などサポーターの発案からうまれた取り組みもあり、事業や拠点の運営への参画が広がった。

【活動内容】

内容	事業	サポーター数（延べ）
サロンの運営サポート	おとなのぬりえサロン	31名
拠点の運営サポート	図書コーナーの運営ほか	108名
hito-haco の運営サポート	haco バン	1名

IV. 情報発信・情報提供に関する事業-全体に関する事業-

中間支援組織である当法人としての「情報の中間支援的役割」を果たすために、取り扱う情報が増えてきたことで、より情報の整理や効果的な情報のみせ方が必要だと考えている。そこで、既存のデータベースはメンテナンスを行いながら引き続き運用しつつ、ホームページの改修や、ボランティアマッチング制度「ボラ×マチ AKASHI」など新たに情報を取り扱うものについては、情報提供ツールの導入や仕組みづくりを進めた。

(1) ポータルサイト「まちナビ AKASHI」のさらなる普及

「まちナビ AKASHI」では、市民活動団体の活動情報ページの改修を行った。具体的には、団体が投稿した「イベント情報」と「活動団体情報」を、同一ページ上で閲覧できる仕様に変更した。これにより、イベントに興味を持った市民が、その団体の活動内容をより深く知ることができ、市民活動への参加のきっかけとなることを進めた。



▲まちナビ AKASHI 活動団体ページ

(2) コーディネートのためのデータベースとしての kintone 運用・管理

コーディネートのために情報提供する際などの利便性につなげるため、kintone での情報蓄積やデータベースの運用を行った。

(3) あかしサポーター制度（仮称）や市民講師の情報収集、蓄積及び提供の充実

あかしサポーター制度「ボラ×マチ AKASHI」では、LINE の公式アカウントを活用し、ボランティアを募集している団体が気軽に情報発信でき、ボランティアをしたい方も登録すれば情報を収集できる仕組みをつくった。

V. 市民の主体的な活動支援事業

1. あかしまちなかブックスポット事業

「明石まちなかブックスポット」はこれまでの取り組みの中で、本に触れられる大小さまざまな拠点として、多くの方に認知されるようになってきている。ブックスポットは本を通じて人と人とが集い交流できる拠点であるが、中には居場所機能をもつ地域活動・市民活動の拠点として運営されているところも多いことがわかった。新たなブックスポットにもそのような傾向がみられ、今年度も続々と多様な新しいブックスポットが増え、全 83 ヶ所に拡大している。（※参考：2022 年 3 月時点 70 ヶ所）

各ブックスポットでは、多様な運営をされているが、うまく活性化できていない拠点もまだまだ多くあるため、より多くの市民に知ってもらい気軽に立ち寄れる拠点を育むことが重要だと考え、今年度は大きく 4 つの事業を実施した。各事業の内容については、以下のとおり。

（1）「My ブックスポットを探るワークショップ/今年度を振り返る交流会」の実施

「My ブックスポットを探るワークショップ」では、地域住民の利活用を進めていくために、ブックスポットオーナーの思いと地域住民のニーズの重なりを探り、運営につなげることを目的に実施した。「今年度を振り返る交流会」では、ブックスポットオーナー主体の語り合いの場とし、普段の運営や活動における悩みや情報交換を行い、活動につなげることを目的に実施した。



▲My ブックスポットを探る
ワークショップ

【取組内容】

タイトル	開催日	内容	参加者数
ブックスポ ブラッシュアップクエスト（BBQ）～My ブックスポットを探るワークショップ～	9 月 7 日（土）	ブックスポット周辺の地域やニーズを可視化しながら、オーナー自身が「目指すブックスポット像」を描くワークショップの実施。事例紹介から始まり、発想を広げるワークや地域のニーズ整理、オーナーとして目指したい姿の言語化・目標設定までを段階的に行った。	4 名
オーナーズトーク～今後のアイデアや取り組みのヒントを見つけませんか～	3 月 22 日（土）	各ブックスポットの活動や助成金活用の工夫を共有し、オーナーの気づきを促す交流イベントとして実施。関心のあるテーマで自由に意見交換し、悩み解決に向けたヒントや来年度以降の取組内容に活かせる機会とした。	5 名

（2）「明石の既存のブックスポットや新設ブックスポットを対象とした助成」の実施

既存のブックスポット及び新規のブックスポットを対象に助成募集を行った。ブックスポットが本をただ置くだけの場ではなく、本を通じた取り組みによって地域住民の居場所となるような機能の充実を目的として、ブックスポットの環境整備（備品購入や空間づくり）、広報活動（チラシ制作や

イベント実施)、書籍購入など、各スポットの状況に応じた多様な取り組みを支援するために助成金を交付した。

【取組内容】

	ブラッシュアップコース（既存）	スタートコース（新規）
助成対象	既存に運営しているブックスポット	新たにブックスポットを開設し、運営をはじめたいブックスポット
募集期間	2024 年 8 月 15 日(木)～9 月 20 日(金)	
助成期間	2024 年 10 月 1 日(火)～2025 年 2 月 28 日(金)	
助成総額	1,187,150 円（うち 11,850 円返金あり）	
助成上限額	上限 150,000 円／件	上限 100,000 円／件
助成ブックスポット	12 ケ所（申請 15 ケ所）	6 ケ所（申請 6 ケ所）

（３）相談対応による活動支援や情報提供などによるコーディネート

「明石まちなかブックスポットブラッシュアップ&スタート助成」の助成期間中には、新規も含めた助成金交付ブックスポット 17 ケ所を訪問し、助成金がどのように活用されているか、日頃の運営はうまくいっているか、困りごとや悩みはないか、今後どうしたいかなどのヒアリング・相談を行った。

（４）「明石のまちなかブックスポット MAP」WEB ページ情報の更新

身近な場所にあるブックスポットを可視化し、実際に訪れるきっかけにつなげるため、MAP が掲載された WEB ページの更新を行なった。各ブックスポットの写真や情報を追加し、MAP では伝えきれない特徴や雰囲気などを紹介した。



▲ブックスポット WEB ページ

2. インクルーシブ学習用コンテンツの制作・配信業務

健康で時間や生活に余裕がある人だけでなく、障害や年齢、性別、国籍、文化など様々な問題でこれまで学習する機会が少なかった人にも学習機会を提供し、多様性を認め合い、共に暮らしていくインクルーシブ社会の実現への一助とする。そのために、市内で学びを提供する様々な主体が、多様な立場の当事者にとって学びやすいインクルーシブな学習環境を整えることが重要である。昨年度実施したアンケート結果を踏まえ、今年度はこれまで当事者向けだった WEB ページを刷新し、学びを提供する側に向けた啓発ページへと刷新した。また、更新したページについて、市内で学びを提供するウィズあかし登録メンバーズや中学校コミュニティセンターなどに情報提供を行った。

ページ掲載内容
・やさしいイベントの工夫とは ～合理的配慮から考える～ ・イベント主催者が知っておきたい配慮のポイント 1.会場づくりでの配慮例 2.資料づくりでの配慮例 3.雰囲気づくりでの配慮例 4.当事者との「対話」具体例 ・明日から使える役立つ情報・リンク集 1.明石市の支援制度（補助金、相談窓口） 2.配慮に役立つツールやサービス（アプリ、UD フォントなど）

3. 明石にじいろキャンペーン市民向けセミナー運営業務

明石市では、SOGIE（性的指向、性自認、性表現）に関わらず、LGBTQ+（性的マイノリティ）を含むすべての市民が自分自身を大切にし、自分らしく生き、互いを認め合える「ありのままだがあたりまえのまち」の実現を目指してLGBTQ+/SOGIE 施策を推進している。

その施策の普及推進の一環として「明石にじいろキャンペーン」を実施するにあたり、一般市民のLGBTQ+/SOGIE の理解促進を図ることを目的として、明石市インクルーシブ推進室よりセミナー運営業務を受託した。アロマンティックアセクシュアルの当事者同士の対談を通して、恋愛指向や性的指向、関係性の多様性について考える機会を提供した。

アンケートでは、96%の方がアロマンティックやアセクシュアルについての「理解が深まった」と回答しており、高い理解促進効果があった。また、「自分のもやもやが可視化された気がして、気持ち楽になりました」「自身について改めて考えるきっかけになった」などの感想もあり、自分自身のことを見つめるきっかけになったと思われる。

【実施内容】

テーマ	開催日	ゲスト	参加者数
恋愛・性愛って人生に必須？アロマンティックやアセクシュアルの視点から考える	2月15日(土) 14:30～16:00	三宅 大二郎、中村 健	33 名 うち YouTube 視聴者 15 名

4. 明石市タウンミーティング開催支援

2023 年度に引き続き、明石市が実施するタウンミーティング「まるちゃんカフェ」の企画や当日の進行の支援を、明石市市民とつながる課が担当するまでの地域編3回について担当した。

【実施内容】

日程	テーマ	ファシリテーター
4月20日(土)	地域編「西明石エリア」	宮内 龍太郎

5 月 25 日(土)	地域編「大久保エリア」	大西 舞奈
6 月 22 日(土)	地域編「二見エリア」	大西 舞奈

5. 市民ワークショップ企画・運営支援

明石市が実施する様々な市民ワークショップについて、ファシリテーターの依頼があった。市民の声を政策に反映させられるようなプログラムとなるよう留意して企画・運営することができた。

【実施内容】

日程	実施事業名
5 月 11 日(土)、11 月 4 日(月)、 2 月 1 日(土)	ワークショップ「みんなでつくろう新しい二見図書館」
9 月 3 日(火)	農業基本計画ワークショップ「みんなで明石の農業を考えよう」
1 月 18 日(土)	大久保駅周辺市有地の利活用に関する全体構想（素案）説明会及びワークショップ

6. 市民ファシリテーター養成講座（基本編・応用編）運営支援

明石市では、共創によるまちづくりを進めるにあたり、市民同士の対話が促進されることを目指しており、2024 年度には、明石市「市民とつながる課」が主催する市民ファシリテーター養成講座の運営支援を行った。この養成講座には、地域活動や職場での経験を活かし、対話や話し合いのスキルを高めたいと考える 80 名以上の市民が参加した。当法人は、これまで地域や市民活動の支援を通じて培ってきたファシリテーションのノウハウを、講座や実践の場で提供した。

さらに、講座修了後には、ウィズあかし主催の「コラボミーツ」において、実践の場としてファシリテーターを務める機会を設け、およそ 10 名の受講者が自ら手を挙げて参加しました。このように、市民ファシリテーター養成講座をきっかけに、地域活動の現場で対話を支える市民の育成が進んでいる。

【実施内容】

	日程	内容
基本編	8 月 31 日(土)	基本編①講座への登壇、運営、動画収録・編集対応
	9 月 21 日(土)、28 日(土)	基本編②講座への登壇、運営対応
応用編	10 月 17 日(木)、23 日(水)	応用編①講座への登壇、運営、動画収録・編集対応
	2 月 6 日(木)、20 日(木)	受講後活動フォローアップ「みんなのひらめき交流会」ファシリテーター事前研修対応
	3 月 9 日(日)	受講後活動フォローアップ「みんなのひらめき交流会」ファシリテーター当日実施、振り返り対応
全体	適宜	担当課との打ち合わせ、講座プログラム検討 など

7. 県内中間支援組織との連携による市民活動支援の強化推進

内閣府が進める孤独・孤立対策の一環として、孤独・孤立対策に取り組む民間団体に対する運営能力の向上や活動基盤の整備を行う中間支援組織等民間団体を対象とした「孤独・孤立対策担い手育成支援事業」を行なっている。これに対し、兵庫県内外の中間支援団体 9 団体がコンソーシアムを組み、当法人も事業への申請・実施に参画した。

コンソーシアム全体としては、孤独・孤立を防ぐ担い手になりうる NPO や市民活動団体自体への「参加」を促すことを取り扱うテーマとして掲げた。具体的には、団体の運営状況や課題に合わせた組織力を強化する「伴走支援事業」、ボランティアなど団体への参加を育むための「セミナー事業」、中間支援組織の空白地域に支援機能を創出する「インキュベーション事業」の 3 事業を実施。当法人は伴走支援事業とセミナー事業に関わり、市内の団体に対して実際に支援を提供した。当事業に参画したことを通じ、日常の市民活動支援事業の強化にもつながった。

【実施内容】

事業名	概要	当法人の関わり
伴走支援事業	兵庫県内で活動する NPO・市民活動団体 3 団体を対象に、コンソーシアムの支援者が約半年間の伴走支援を実施。支援方針や支援状況を研究会として共有し、伴走支援のあり方を精査・取りまとめを行なった	・市内 1 団体への伴走支援の実施 ・他 2 団体への伴走支援への帯同 ・事業全体の事務局業務を担当
セミナー事業	「参加のデザインフォーラム」として、県内で活躍する NPO・市民活動団体をゲストに招き、活動への市民参加を探るイベントの開催。また、「参加のデザイン短期集中ゼミ」として、各団体における参加の企画を考える全 4 回のセミナーの開催	・フォーラム、セミナーの開催・運営支援

8. 視察受け入れ、講師派遣等

市民・団体等に向けて、主体性を育むための様々な取り組みを実施し、協働のまちづくりを推進した。具体的な取り組みとしては以下のとおり。

(1) 視察受け入れ

各所から視察受け入れを実施した。具体的には以下のとおり。

【視察受入実績】

日程	視察者	人数
8 月 9 日(金)	個人	1 名
7 月 10 日(水)、11 日(木)	那覇市	10 名
11 月 27 日	三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング	2 名

(2) 奈良県王寺町まちづくり協議会設立支援

地域運営組織による地域づくりの検討を進めている奈良県王寺町から依頼を受け、担当課に対する制度設計や住民主体の場づくりに関する助言、及びモデル地区のまちづくり協議会設立検討チームに対して情報提供や会議運営支援を行った。モデル地区は次年度春に、協議会の設立を予定しており、今後他地区が続いていく見込みである。

高頻度で関係者へのアプローチが可能な明石市内の支援と異なり、1回の会議での助言や論点整理が重要となるため、今後市内でも求められるアドバイザー的な地域支援のあり方をスタッフが習得する機会にもつながっている。

【実施内容】

日程	内容
10月12日(土)	モデル地区まちづくり協議会立ち上げに向けた住民意見交換会での、話題提供及びファシリテーション
1月25日(土)	第1回モデル地区協議会設立検討チームに対する情報提供・会議支援
2月22日(土)	第2回モデル地区協議会設立検討チームに対する情報提供・会議支援
3月22日(土)	第3回モデル地区協議会設立検討チームに対する情報提供・会議支援
適宜	担当課に対するまちづくり協議会設立や運営に関する制度設計や、住民主体での設置に向けた機運づくりや話し合いの場づくりについてオンライン会議等で助言を行った

(3) 講師・委員等派遣事業

下記のとおり、多数の講師依頼を受けた。近隣にとどまらず、全国各地から依頼が増えつつある。

【講師派遣実績】

内容	派遣日	依頼者	テーマ	派遣者
講師	4月22日(月) 他9回	あかねカレッジコーディネートセンター	あかねカレッジ科目別コース「広報・デザイン学科」	原 裕己
講師	4月27日(土)	稲美町	令和6年度生涯学習推進員研修会	原 裕己
パネリスト	5月11日(土)	自治労大阪府本部	第23回大阪地方自治研究集会(全体会)	柏木 登起
パネリスト	7月9日(火)	中間支援機能に関する研究会	「これからの中間支援を考えるシンポジウム」	柏木 登起
講師	7月10日(水)	公益財団法人こども財団	放課後児童クラブ支援員研修「より良い会議・話し合いに向けて」	木上 裕貴
パネリスト	8月21日(水)	明石市教育委員会	コミュニティ・スクール夏季研修会「明石のコミュニティ・スクール2024」	木上 裕貴
講師	9月6日(金)	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団	女性・男性リーダー修了生サポート講座「男女共同参画の『令和モデル』を考える」	柏木 登起
講師	9月6日(金)	認定NPO法人杜の伝言板	「助成プログラム×NPO～資金と	木上 裕貴

		ゆるる	想いの好循環～	
講師	9 月 19 日(木) 他 2 回	公益財団法人こども財団	放課後児童クラブ支援員研修「より良い活動に向けて相談事を分かち合おう」他	木上 裕貴
ファシリテーター	9 月 18 日(水) ～20 日(金)	農林水産省	農村プロデューサー養成講座（岡山会場）	柏木 登起
ファシリテーター	9 月 30 日(月) ～10 月 2 日(水)	農林水産省	農村プロデューサー養成講座（大阪会場）	柏木 登起
講師	10 月 22 日(火)	いなみ野学園	いなみ野学園大学院「地域まちづくり活動の実践と課題」	木上 裕貴
講師	10 月 29 日(火)	兵庫県立神戸甲北高等学校	「産業社会と人間」講演会	大西 舞奈
講師	10 月 29 日(火)	東播磨・北播磨地区社会教育委員協議会	令和 6 年度「東播磨・北播磨地区社会教育・公民館研修大会」	木上 裕貴
講師	11 月 2 日(土)	伊丹市自治会連合会	令和 6 年度「伊丹市自治会連合会自治会研修会」	宮内 龍太郎
ファシリテーター	11 月 7 日(木)	東播磨地区自治会連合会	第 49 回「東播磨地区自治会研究会」	宮内 龍太郎
コーディネーター ファシリテーター	11 月 27 日(水)	伊丹市自治会連合会	令和 6 年度「管外視察研修」 藤江校区まちづくり協議会	宮内 龍太郎
講師&ファシリテーター	12 月 1 日(日)	加東市	令和 6 年度加東市まちづくり活動 団体交流会	宮内 龍太郎 大西 舞奈
パネリスト	1 月 21 日(火)	日本地域福祉学会地域福祉実践研究編集会議	「地域福祉実践研究」特集 1 座談会	柏木 登起
コーディネーター	1 月 24 日(金)	総務省	令和 6 年度「地域運営組織」全国セミナー（四国ブロック）	柏木 登起
講師	2 月 1 日(土)	NPO 法人シミズシーズ	東ハリマくらし学校「地域で活かすコミュニケーションのコツ」	大西 舞奈
講師	2 月 5 日(水)	東広島市	令和 6 年度市民協働のまちづくり講演会「みんなで考える、これからの地域づくり～住民自治協議会の可能性とは～」	柏木 登起
講師	3 月 21 日(金)	東広島市	令和 6 年度第 3 回共創塾及び第 3 回学びあい・磨きあい研修	柏木 登起
委員	4 回 + 事例調査	総務省自治行政局地域自立 応援課地域振興室	令和 6 年度地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会に係る委員	柏木登起
委員	3 回	豊岡市	豊岡市地域づくり戦略会議	柏木 登起

<その他の委員派遣> いずれも 2025 年 3 月現在

- ・一般社団法人明石観光協会 理事 柏木登起
- ・あかし女性応援ねっと 事務局長 柏木登起

(4) 地域づくりを支援する人のためのケースブックの販売

販売冊数：18 冊

(5) 各種ネットワークへの参加・連携

<主な機関>

- ・あかし女性応援ねっと
- ・ひょうご中間支援団体ネットワーク
- ・小規模多機能自治推進ネットワーク
- ・兵庫県災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議 等

VI. 法人管理

前述のとおり、2023 年度に策定した「行動指針（クレド）」を元に 6 月の全体会において、スタッフ一人ひとりが「なぜ明石コミュニティ創造協会で働くのか」を再確認するとともに、1 年間の自分自身の成長と、目標設定をする機会をつくった。

また、徐々に職員数が増える中、スタッフの人材育成には特に注力し、スタッフ一人ひとりとの日々のコミュニケーションを丁寧に取りながら、人材育成を進めることができている。

その他、評議員会、理事会、理事運営会議の運営等はもちろんのこと、会計・労務・登記等各種事務はこれまで通り安定して実施することができた。

具体的な取り組み内容は以下のとおり。

（１）法人の基盤整備事業の内容

- ・評議員会・理事会の運営
- ・行動指針（クレド）の運用
- ・ビジョン会議等法人の今後の方向性を検討する機会の開催
- ・スタッフの人材育成及びスキルアップ評価の仕組み、給与評価制度の運用
- ・会計・税務処理
- ・労務処理
- ・各種規程の見直し
- ・法人情報の開示の徹底
- ・法人ホームページ及び SNS の運用
- ・登記変更及び届出、その他手続の処理
- ・その他法人の運営に関すること

（２）会議開催状況

【評議員会】

第 30 回評議員会（6 月 25 日）：2023 年度決算承認（議案）

理事の選任（議案）

2023 年度事業報告（報告）

2024 年度予算（報告）

第 31 回評議員会（3 月 13 日）：2025 年度事業計画（報告）

2025 年度暫定予算（4～6 月分）（報告）

【理事会】

第 42 回理事会（みなし開催）：理事長の選定

第 43 回理事会（6 月 6 日）：2023 年度事業報告、2023 年度決算報告、2024 年度予算

第 30 回評議員会の開催

第 44 回理事会（9 月 11 日）：契約職員に係る給与に関する要綱の変更

個人情報保護に関する規程の変更

2024 年度事業進捗状況

第 45 回理事会（2 月 14 日）：2024 年度補正予算、2025 年度事業計画、2025 年度暫定予算

各種規程の変更、第 31 回評議員会の開催

【その他の会議】

- ・ビジョン会議（法人の今後の方向性を考えるリーダー以上のメンバーによる会議） 年 2 回
- ・職員全体会（毎月第 1 月曜に開催） 年 10 回
- ・その他各チーム別会議等（随時開催）

（3）人員体制 ※2025 年 3 月 31 日現在

【役員体制】

評議員：石井美弥子、小田幸子、川島幸夫、高岸益子、宮内正次、本塚智貴

理事長：藤城宏樹

常務理事兼事務局長：柏木登起

理 事：青木志帆、岩崎充臣、澤井康樹、鈴木遥、久隆浩、門前喜康

監 事：荻野泰三、藤田道広

【スタッフ】

事務局員：市出向職員 5 名、プロパー常勤職員 13 名、パート職員 18 名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間稼働率
学習室701	R06	66.2	61.1	76.9	72.4	67.9	72.0	79.6	79.5	76.4	74.3	81.3	71.2	73.2
	R05	66.2	62.8	68.6	72.4	62.3	73.1	80.1	74.4	71.5	75.7	68.7	69.1	70.4
	R04	63.5	65.4	71.8	69.1	65.4	72.4	66.0	84.0	75.0	70.8	77.1	71.3	71.0
	R03	62.3	41.0	52.6	61.7	57.1	53.8	70.4	73.3	77.1	66.0	48.6	58.6	60.2
学習室702	R06	74.3	71.6	79.5	75.6	75.3	77.3	79.0	85.9	80.6	81.9	81.9	87.2	79.2
	R05	71.4	69.2	78.2	78.2	71.6	79.5	91.0	83.3	83.3	84.7	81.3	83.8	79.6
	R04	67.9	67.9	71.8	72.8	67.9	75.6	75.6	80.8	79.2	76.4	84.7	87.5	75.7
	R03	50.6	51.3	66.7	79.0	57.7	56.4	84.0	73.3	79.2	63.9	61.1	54.3	64.8
学習室703	R06	69.9	65.0	71.8	73.1	60.5	77.3	79.0	82.1	73.6	70.8	77.8	76.6	73.1
	R05	70.1	66.7	74.4	76.9	61.7	75.6	78.2	82.1	77.8	76.4	83.6	70.7	74.5
	R04	64.9	70.5	70.5	77.8	67.9	76.9	69.2	80.8	79.2	69.4	76.4	82.3	73.8
	R03	53.2	39.7	39.7	63.0	53.8	47.4	82.7	70.7	72.2	63.9	52.8	59.3	58.2
学習室704	R06	67.1	63.8	80.0	67.9	69.8	75.3	78.4	84.6	64.6	77.1	79.9	66.0	72.9
	R05	67.1	68.6	77.6	70.5	64.2	73.1	83.3	82.7	66.0	75.7	80.7	71.0	73.4
	R04	63.0	70.5	70.9	72.8	68.6	76.9	80.1	82.1	63.2	72.2	81.9	75.2	73.1
	R03	44.2	36.5	51.9	65.4	50.0	53.8	71.0	75.3	70.1	66.7	62.5	70.3	59.8
学習室801	R06	80.1	71.0	80.1	76.3	69.1	86.0	88.9	88.5	79.2	74.3	90.3	83.3	80.6
	R05	79.1	73.7	81.4	81.6	71.6	82.7	85.3	80.1	69.4	85.4	84.2	83.2	79.8
	R04	76.9	68.2	76.9	78.4	69.9	82.7	77.9	82.1	84.7	77.1	88.9	85.8	79.1
	R03	60.9	50.0	49.4	69.1	67.3	67.9	79.6	83.3	79.2	68.1	67.4	72.2	67.9
学習室802	R06	58.1	59.3	73.1	74.4	63.0	84.0	80.2	87.2	72.2	83.3	83.1	79.2	74.8
	R05	74.0	65.4	79.5	75.6	63.0	73.1	83.3	76.9	68.1	76.4	81.3	74.1	74.2
	R04	70.5	65.4	78.2	75.3	69.2	67.9	73.1	84.6	70.8	65.3	81.9	76.5	73.2
	R03	59.0	46.2	47.4	56.8	43.6	46.2	79.0	78.7	65.3	61.1	58.3	66.7	59.0
学習室803	R06	52.7	66.7	76.9	80.8	69.1	76.0	82.7	78.2	63.9	68.1	76.4	71.8	71.9
	R05	69.7	55.1	76.9	66.7	61.7	60.3	73.1	65.4	68.1	66.7	77.3	70.5	67.6
	R04	61.0	65.4	76.9	64.2	55.1	67.9	71.8	82.1	79.2	77.8	75.0	79.0	71.3
	R03	53.3	25.6	57.7	56.8	53.8	44.9	65.4	78.7	68.1	58.3	63.9	63.0	57.5
学習室804	R06	80.0	85.2	88.5	80.8	77.8	84.0	86.4	84.6	88.9	83.3	88.9	88.5	84.7
	R05	80.8	73.1	82.1	71.8	75.3	78.2	78.2	80.8	61.4	76.4	84.0	78.5	76.7
	R04	75.6	82.1	78.2	76.5	70.5	70.5	80.8	80.8	76.4	81.9	80.6	79.0	77.7
	R03	69.2	60.3	71.8	70.4	74.4	71.8	84.0	78.7	90.3	80.6	65.3	70.4	73.9
学習室805	R06	62.7	67.9	70.5	76.9	60.5	68.0	75.3	78.2	73.6	75.0	80.6	75.6	72.1
	R05	67.9	60.3	71.8	67.9	65.4	57.7	85.9	69.2	68.1	81.9	77.3	62.5	69.7
	R04	62.8	64.1	82.1	66.7	65.4	59.0	66.7	74.4	59.7	66.7	76.4	65.4	67.5
	R03	42.3	50.0	61.5	55.6	57.7	56.4	71.6	61.3	81.9	65.3	59.7	55.6	59.9
調理実習室	R06	25.3	28.8	50.0	37.2	32.1	32.0	38.3	47.4	44.4	34.7	47.2	51.3	39.1
	R05	26.9	25.6	42.3	44.9	32.1	42.3	53.8	46.2	61.4	45.1	44.0	30.9	41.3
	R04	14.1	28.2	35.1	40.7	29.5	29.5	30.8	44.9	47.8	30.6	61.1	43.2	36.3
	R03	5.1	9.0	10.3	27.2	12.8	17.9	24.7	40.0	42.0	27.8	27.8	18.5	21.9
和室	R06	40.0	42.0	67.9	52.6	40.7	50.7	53.1	60.3	58.3	55.7	69.4	57.5	54.0
	R05	62.8	44.9	55.1	55.1	47.5	48.0	66.7	52.6	49.3	52.8	49.3	48.1	52.7
	R04	35.9	39.7	51.3	44.4	50.0	51.3	53.8	61.5	48.6	56.9	66.7	56.8	51.4
	R03	44.9	38.5	42.3	35.8	30.8	29.5	49.4	49.3	48.6	48.6	44.4	43.2	42.1
子午線ホール	R06	56.2	30.8	60.0	70.1	47.5	48.6	68.4	75.0	69.4	55.1	45.7	48.7	56.3
	R05	49.3	46.8	58.7	54.7	55.0	44.2	74.4	77.5	51.4	36.1	59.2	67.5	56.0
	R04	42.5	27.6	53.9	70.4	57.9	37.2	60.5	77.3	47.1	69.5	68.6	44.4	54.7
	R03	34.8	12.8	43.4	59.3	34.6	24.4	56.2	66.2	58.0	50.8	64.3	45.8	45.9
	R02	8.3	0.0	2.7	10.1	12.8	28.2	53.3	55.4	41.7	15.3	51.9	33.3	27.2
リハーサルスタジオ	R06	48.6	45.7	51.3	38.5	45.7	53.3	45.7	53.8	47.2	65.3	36.1	39.7	47.6
	R05	36.4	47.4	39.7	39.7	34.2	41.0	52.6	43.6	45.8	44.4	50.0	48.1	43.6
	R04	28.6	43.6	44.9	55.6	36.4	39.7	40.8	60.3	40.3	47.2	58.3	43.2	44.9
	R03	36.5	25.6	29.5	44.4	29.5	44.9	45.7	58.7	41.7	40.3	37.5	34.6	39.1
音楽練習室1	R06	68.0	67.9	82.1	73.1	87.7	80.0	84.0	84.6	83.3	86.1	91.7	79.5	80.7
	R05	66.7	61.5	56.4	70.5	66.7	70.5	80.8	79.5	75.0	76.4	77.3	69.1	70.9
	R04	65.4	70.5	73.1	63.0	65.4	69.2	71.1	82.1	75.0	70.8	77.8	65.4	70.7
	R03	51.3	52.6	47.4	53.1	52.6	70.5	77.8	57.3	59.7	68.1	56.9	46.9	57.9
音楽練習室2	R06	39.2	50.6	56.4	47.4	61.7	60.0	50.6	61.5	56.9	58.3	55.6	50.0	54.0
	R05	34.6	30.8	34.6	32.1	33.3	48.7	55.1	64.1	48.6	33.3	47.3	36.3	41.6
	R04	19.2	32.1	30.8	28.4	29.5	39.7	28.9	53.8	37.5	31.9	36.1	46.9	34.6
	R03	24.4	37.2	28.2	34.6	26.9	35.9	35.8	45.3	31.9	27.8	11.1	19.8	29.9
ウィズあかし全室平均	R06	61.2	59.7	72.5	67.4	63.1	69.9	73.2	76.9	69.6	69.2	74.3	69.3	68.9
	R05	63.1	58.7	67.0	65.7	59.2	65.4	76.1	71.9	66.0	68.0	71.1	65.9	66.5
	R04	56.4	59.2	65.9	65.4	59.6	63.8	65.1	75.5	66.0	65.8	74.4	68.5	65.4
	R03	47.8	39.1	47.4	54.5	48.7	49.9	66.6	67.9	66.3	58.8	53.1	54.6	54.7